

「学びの好循環」を生み出す 高校教育の変革

【学校教育課】

資料2

滋賀で育成したい
人材像

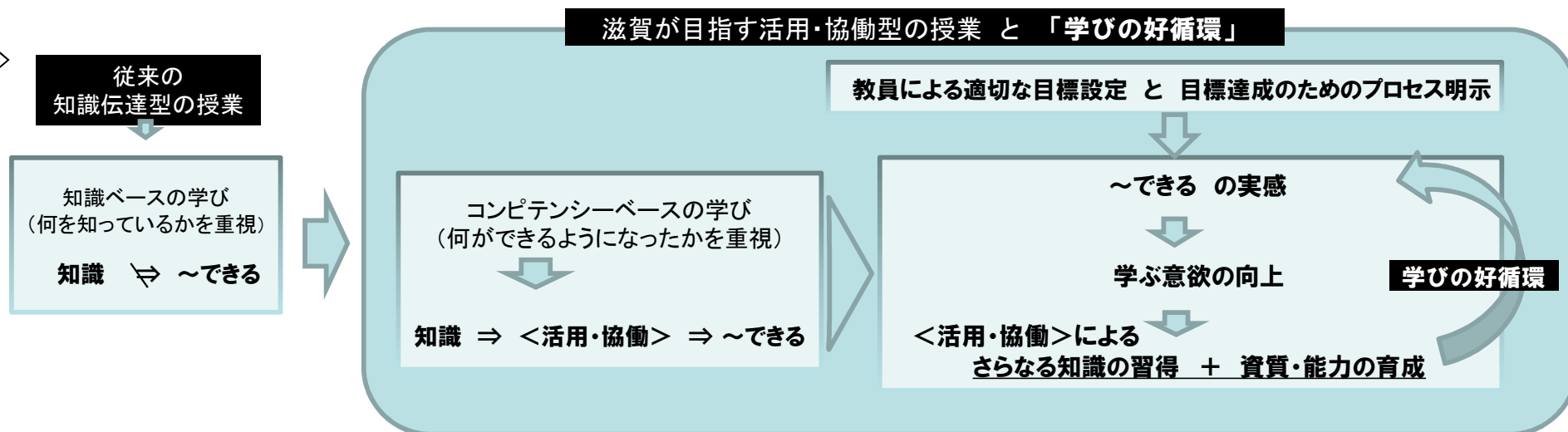
グローバル化の進展や生産年齢人口の減少など、ますます変化・複雑化する課題の解決に向けて、滋賀への深い愛着と主体性をもって、多様な他者と協働し、滋賀の強み（地域と子どもたちとの結びつき、環境分野等での独自の技術、大学の集積、滋賀への誇りを高める歴史・文化等）を生かしながら、新たな価値を創造し、これからの滋賀の成長・発展を支えていく人材、滋賀から世界に目を向けて活躍する人材を育成する。

未来の滋賀を担う
人材に求められる
資質・能力

【具体的な資質・能力（コンピテンシー）】

（能力） 知識・情報処理能力、思考力・判断力・表現力、課題発見・解決能力、論理的・建設的批判能力、コミュニケーション能力、英語運用能力 等
（意欲・態度） 学び続ける意欲、他者と円滑に人間関係を構築する能力、他者と協働する能力、争いを処理し解決する能力、多様性に対する適応力 等
（価値観等） 滋賀への深い愛着、自分への自信、異文化理解・共感力、アイデンティティ、使命感 等

「学びの好循環」を
生み出すモデル



取り組みの
方向性

「高校教育の変革」

1 学びの変革

■ これまでの「何を教えるか」という知識の質や量の改善 + 「どのように学ぶか」という学びの質と深まりを重視

2 英語教育の変革

■ これまでの「英語を理解する力」
+ 「英語で発信・探究する力」の育成

3 学校体制の変革

■ 校長のリーダーシップのもと目標達成のために、
全職員で取り組む学校の体制づくり

新テストを含む
高大接続改革への対応

・ 大学入学希望者学力評価テスト
・ 高等学校基礎学力テスト